

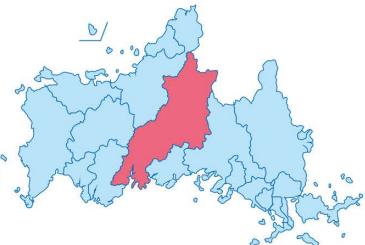


臨床研修病院

5

社会福祉法人恩賜財団済生会支部
山口県済生会 山口総合病院

高度急性期・専門医療を通じ、二次救急を担う地域医療支援病院として山口市の地域医療を支える中核的な役割を果たしています。研修では1つの研修診療科に1人の研修医を割り当てるマンツーマン研修と、研修医の希望に応えるテーラーメイドのカリキュラムが特徴。選択科目が自由に選べ、希望する研修を重点的に受けられるようになります。



所在: 〒753-8517
山口県山口市緑町2-11

研修プログラムの特徴

急性期医療を担う当院と、老人性認知症を中心に精神科を診療する仁保病院、小児科・産婦人科を担当する山口赤十字病院及び近隣の社会福祉施設や開業医で研修を行うプログラムとなっています。各機関が効率的に連携している中での研修によって、地域連携や職員間の連携などを身につけることが可能です。

研修スケジュール例

1年目	救 4週	内 24週	外 4週	麻 4週	放 4週	選 12週
※救急部門研修を行う際、麻酔科、放射線科で学ぶ手技が必要となることもあるため、選択科ですが1年目より、麻酔科と放射線科を当初よりプログラムに組み込んでいます。						
2年目	地一 8週	精 4週	産 4週	小 4週	選 32週	

救…救急、内…内科、外…外科、麻…麻酔科、放…放射線科、選…選択科
地…地域医療、一…一般外来、精…精神科、産…産婦人科、小…小児科

関連病院

- ・山口大学医学部附属病院
- ・仁保病院
- ・小郡第一総合病院
- ・山口赤十字病院
- ・長門総合病院
- ・柴田病院

主な勉強会

- 研修医による勉強会（月1～2回）
ICLS講習会（年1回）
CPC（年1回）
各診療科カンファレンス（週1回）

指導医

【泌尿器科部長】 大場一生 医師



Q.当院の自慢は？

当院は山口市の中核病院でかつ萩・益田方面の患者さんも数多く受入れている2次救急病院です。症例数も豊富ですが、各科の垣根が低く、アットホームなところが最大の特徴です。

Q.研修内容のセールスポイントは？

基本的に各科1人ずつ研修していただきますので、マンツーマンで丁寧な指導を行います。そのため実践的な手技や処置も早期に修得できると思います。また各科の垣根が低いので、困った症例をストレスなく相談できます。

Q.指導において心がけているのは？

“医師の心”をはぐくむことが大切です。研修医と共に指導する側も一緒に研鑽して参ります。

Q.医学生へのメッセージ

“よく学び、よく遊べ” 山口市は自然豊かで、空気もきれいなので、スポーツをするには最適な環境です。充実した研修プログラムと共に有意義な2年間の研修生活を送りましょう。

初期研修医

研修2年目
【山口大学出身】 小野由喜 医師



Q.研修先病院として選んだ理由は？

学生時代に実習や病院見学で訪れた時に病院全体の雰囲気に惹かれたからです。また、ローテートするのでたくさんの症例経験できることが決め手になりました。

Q.この病院を選んでよかったことは？

先生方と同じ医局であるため、指導医の先生方にすぐ相談できる環境にあることです。他科の先生ともお話しする機会が多く、様々なことが学べます。また、院外での研修が最短で5ヶ月あるので、他院の先生方とも繋がりをつくることができます。

Q.研修で最も身についたことは？

基本的な手技はもちろんですが、それぞれの志望科をローテートした際には専門的な手技にも取り組むこともあります。

Q.医学生へのメッセージ

病院ごとに様々な特色があるのでいろいろな病院に見学に行かれると良いと思います。興味のある方は是非いらしてください。お待ちしています。

お問い合わせ先

●担当者：関正紀 ●電話：083-901-6405（直通）/6111（代表）
●Eメール：kikaku-pr@yamaguchi.saiseikai.or.jp